三角中学校食育便り ~夏休み号~



令和5年7月 三角中学校

梅雨が明けると本格的な夏がやってきます。もうすぐ夏休みに入りますが、学校がないからと、夜ふ かしや朝寝坊をしたり、ダラダラとお菓子を食べたりしていると、夏バテを起こし、体調を崩しやすく なります。夏休み中も元気に過ごすには、規則正しい生活と栄養バランスのとれた食事、そして十分な 睡眠をとることです。夏休み中は自分で昼食を用意することもあると思います。自分なりに栄養のバラ ンスを考えてみましょう。夏休みの食生活のポイントに気をつけて、夏を乗り切りましょう。

# 夏休みの食生活のポイント ~元気に過ごすために~

### 1日3回の食事を規則正しくとろう

学校があるときと同じように、早寝・早起きを心がけて、 朝・昼・夕の3回の食事を規則正しくとり、生活リズムを整 えましょう。





栄養のバランスを考えよう

昼ごはんを自分で選んで準備する場合は、**主食・主菜・副菜**をそろ えることを心がけましょう。栄養のバランスが整いやすくなります。

主食

主菜

副菜

果物・ 乳製品

(主にエネルギーのもとになる食品) (主に体をつくるもとになる食品)(主に体の調子を整えるもとになる食品)

ごはん・パン・めん類

肉・魚・卵・豆類を 中心としたおかず

野菜・きのこ・いも・海藻類を 中心としたおかず















# こまめに水分補給をしよう







水分は、のどがかわく前にこまめに補給しましょう。暑さや運動 などで大量の汗をかくと、体内の水分量が減少し脱水を起こしま す。この脱水が進むと熱中症になります。普段の水分補給は水や 麦茶がよいですが、大量の汗をかくときは、スポーツドリンクなど を飲んで、熱中症を予防しましょう。

# 間食のとり方に気をつけよう









時間を決めて 食べよう

食べる内容は、食事で不足しがちな栄養素 (カルシウム、鉄など)を含む食品を取り入れる とよいでしょう。市販品を利用する場合は、脂 質、塩分、糖分のとりすぎに気をつけましょう。 間食の量の目安は1日200kcal 程度です。

また、食事に影響しない適量を心がけて、だ らだら食べずに時間を決めて食べるようにし ましょう。

# 食欲増進のポイント

### 〈夏野菜プラス香味野菜〉

なす、きゅうり、トマト、インゲン などの夏野菜に、しょうが、みょう が、しそなどの香味野菜を刻ん だ物を少量加えてアクセントを つけます。 夏の暑い日が続くと、睡眠不足や胃酸の分泌も低下して、食欲が落ち やすくなります。こうした時こそ、食事作りにちょっとした工夫をして、 食欲を増すようにしましょう。

#### 〈酸味を利用〉

焼き魚や天ぷらのつけ汁、 スープ、お浸しなどにレモン の絞り汁をかけます。

#### 〈カレー粉やにんにくを上手に〉

野菜炒めにカレー粉を加えて味を ととのえたり、豚肉料理やぎょうざ などににんにくを加えます。



暑いからといって、そうめんやアイスキャンディー(アイスクリーム)、清涼飲料などの冷たいものばかりとるのは避けましょう。冷たいもののとりすぎは胃腸の働きをにぶらせ、夏バテを悪化させてしまいます。



# 作ってみきせんか?

### ~豚キムチごはん~

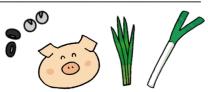
#### 材料(4人分)

豚肉(スライス) 200g キャベツ 120g にんじん 中1/4本 1/2個 ぶなしめじ ニラ 20g 白菜キムチ(きざみ)80g 赤みそ 大さじ1 うすくちしょうゆ 小さじ1 こいくちしょうゆ 小さじ1 料理酒 小さじ1 ひとつまみ 給食で人気の献立です。豚肉にはビタミン $B_1$ が多く、二ラには硫化アリルという栄養が含まれます。どちらも疲労回復に効果的です。 キムチの香辛料も食欲増進に効果的な食品です。

#### 《作り方》

- ① 肉は1口大、キャベツは大きめに切り、にんじんは短冊切り、 ニラは2cm幅に切り、しめじは石づきを切っておく。
- ② 油を適量ひき、肉、キャベツ、にんじん、しめじ、二ラを炒め、火が通ったら白菜キムチと調味料を加えて炒める。
- ③ 炊き上がったご飯に混ぜ合わせて完成。(ごはんの上にのせて丼ぶりにしてもいいですね)

## 疲労回復に役立つ栄養素



#### ビタミンB1

体の中で糖質がエネルギーに変わるために必要な栄養素です。豚肉や豆類などに豊富に含まれています。

#### アリシン(硫化アリル)

糖質がエネルギーに変わるのに必要なビタミン B<sub>1</sub>の吸収を助けます。 にんにくやねぎ、にらなどに豊富に含まれています。

# \*「家庭の日」のご協力ありがとうございます\*

食への関心や実践する力を高めるとともに、親子のコミュニケーションの場を増やし、家族の絆を深めていただけたらと思います。 感想の一部を紹介します。

- ・慣れない作業で騒ぎながら食事を作り上げていました。作って →食べて→片付けまでの流れを行うことで食事作りの大変さ、 ありがたさを学ぶことができたと思います。
- ・買い物に一緒に行き、野菜を切る手伝いをしてくれました。 普段はなかなか一緒にする機会がないので楽しくできました。
- ・食事作りを全てしてくれ、片付けも分担しながら最後までして くれました。夏休みに入るので、家事を少しでも覚えてくれたら と思います。
- ・食事中に学校のことなどをよく話してくれるので、様子がわか り安心します。これからも家族そろっての食事の時間を大切に したいです。

# 食の体験を広げよう!

野菜の栽培・観察をする、家族の食事を 作る、地域の行事食を調べるなど、やって みたいこと、調べたいことを見つけて挑 戦してみましょう。

夏休みは様々なことに挑戦する絶好の機会です。料理をするときは、おうちの人と相談し、できることから挑戦してみましょう。



